

第 1・2 学年 体育科

1 学年の目標

- (1) 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養う。
- (2) だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。

2 指導の要点

- (1) 1・2年生では、運動を楽しく行っていく中で、基本的な動きを身に付けるとともに体力の養成を図ろうとしている。また、各種の運動を楽しむための活動の仕方や競争のルールなどを児童の力に応じて工夫させたり、生涯にわたって運動に親しみ、運動を実践していくための基礎的・基本的な資質や能力を育てたりすることを目指している。
- (2) 社会的態度としては、順番やきまりを守って仲よく運動をしたり、協力して仲よく勝敗を競ったりするなどの態度の育成を目指している。また、低学年においても各種の運動に進んで取り組む態度が求められていることから、「意欲的に」という言葉が示されている。

3 内容の取り扱い

運動の取り上げ方の弾力化により、「体づくり運動」以外のすべての指導内容について、2学年のいずれかの学年で取り上げて指導する（指導内容の重点化などにより、まとめて指導する）こともできる。各学校の創意工夫を生かした指導計画が期待される。

領域	内 容	学年		備 考
		1 年	2 年	
体 つ く り 運 動	体ほぐしの運動	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動については、2学年にわたって指導するものとする。 ・運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向や体力の低下傾向を受け、低学年から体づくり運動が取り上げられことを踏まえて指導する。
	つ多 く様 なる 運 動 動 き 遊 び	●	●	
	体のバランスをとる運動遊び			
	体を移動する運動遊び			
用具を操作する運動遊び				
	力試しの運動遊び			
の器 運 械 動 ・ 遊 器 具 を 使 っ て	固定施設を使った運動遊び	★		<ul style="list-style-type: none"> ・児童がそれぞれの器械・器具を使った多様な動き方や遊び方をイメージできるように図で掲示したり、集団で取り組める遊びを工夫したり、児童が創意工夫した動きを評価することが必要である。 ・器械運動と関連の深い動きを意図的に取り組ませ、基礎となる感覚を身に付けさせることが大切である。
	マットを使った運動遊び	★		
	鉄棒を使った運動遊び	★		
	跳び箱を使った運動遊び	★		
運 走 動 ・ 遊 跳 び の	走の運動遊び	★		<ul style="list-style-type: none"> ・走・跳の運動遊びでは、走ったり跳んだりする動き自体の面白さ・心地よさを引き出す指導を基本にしながら、どのような力をもった児童にお

運走 動・ 遊跳 びの	跳の運動遊び	★	いても競走（争）に勝つことができたり，意図的に運動に取り組むことができたりするように，楽しい活動の仕方や場の工夫をすることが大切である。
水遊 び	水に慣れる遊び	★	・児童の能力にふさわしい課題に挑み，活動を通して水の特性について知り，水に慣れ親しむ。
	浮く・もぐる遊び	★	
ゲ ー ム	ボールゲーム	★	・公正に行動する態度，特に勝敗の結果をめぐって正しい態度や行動がとれるようにすることが大切である。
	鬼遊び	★	
表 現 リ ズ ム 遊 び	表現遊び	★	・リズム遊びについては，簡単なフォークダンスを含めて指導することができる。 ・いろいろなものになりきりやすく，律動的な活動を好む低学年の児童の特性を生かした学習指導の進め方を工夫することが大切である。
	リズム遊び	★	
歌や運動を伴う伝承遊び及び 自然の中での運動遊び		○	・地域や学校の実態に応じて加えて指導することができる。

●印は，必ずその学年で指導することを意味する。

★印は，いずれかの学年に分けて指導することができることを意味する。

○印は，地域や学校の実態に応じて加えて指導できることを意味する。

4 評価の観点の趣旨

観 点	観 点 の 趣 旨
運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	運動に進んで取り組むとともに，だれとでも仲よく，健康・安全に留意しようとする。
運動や健康・安全につい ての思考・判断	運動の仕方を工夫している。
運動の技能	運動を楽しく行うための基本的な動きを身に付けている。